

1 章 文書・Web デザイン

誰もが気軽に見ることができ、また作ることができるホームページ。だからこそ、よいデザインについて知っておくことは有益である。

< 文書のデザイン >

ワープロで文書を作るにしても、ホームページを作るにしてもその構成は文書で成り立っている。だからこそ、文書のデザインというものが必要となってくる。

文書のデザインは大きく二つの側面に分けられる。

- ・ 内部の設計（言語面の構成、つまり内容の構成）
- ・ 外部の設計（視覚面の構成、つまりレイアウト、見た目）

とくに、外部の設計は今まであまり言及されずにきたが、内容をわかりやすく伝えるためには、大事なポイントである。

その外部の設計において大切なのが、読み手が「一目でわかる」ということである。そのためには、文章の箇条書きや、段落わけなどが必要なのである。

< Web デザイン >

ホームページにおいても文書のデザインというものは大切だが、ホームページには独自の特徴がある。

例）リンクの設定

ページの間で自由にリンクできる性質は Web の大きな利点である。そのため設定は Web サイト全体の構造にかかわってくる。

また視覚的なデザインについて留意すべき点は、以下のとおりである。

- 1．内容の区切りとポイントを明示する。
フォントの大きさや、見出し、段落の区切りをつける。Web ページで何を伝えたいのかを明確に示す。
- 2．本文と背景のバランスを考える。
図と地の関係を考えたり、配色を考えたりする。
- 3．シンプルなデザインを心がける。
操作性を考え、スクロールの回数などが多くならないようにする。

まとめ

読み手は常に視覚的なレイアウトを通して文書の内容にアクセスする。したがって、文書のレイアウトは一種のインタフェースの役目を持っている。そして、インタフェースであるレイアウトのよしあしが、内容へのアクセスの容易さを左右する。